

コープ災害ボランティアネットワークニュース

発行2014年10月 第76号
 東京都生活協同組合連合会
 コープ災害ボランティア
 ネットワーク幹事会
 TEL03-3383-7800

第14期コープ災害ボランティア養成講座がスタートしました

東京都生協連のコープ災害ボランティアネットワーク（以下、CO 災ボ）は、阪神淡路大震災後のボランティア活動経験を契機に、地域のボランティア活動の中心となる人材の育成を目的に2002年に発足しました。その取り組みのひとつとして、「コープ災害ボランティア養成講座」（以下、CO 災ボ養成講座）を毎年開催しています。これまでに、500名以上の生協の役職員・組合員が受講しています。

講座を学んで、気づいて、自分の周りに伝えること、地域でのネットワークづくりや生協の活動にもつなげていけるようになればと思います。

今年度の第14期CO 災ボ養成講座は、全5講座で、定員50名のところ69名でスタートしました。9月27日（土）、東京都生協連会館で第1回の開講式を開催しました。今年度は、生協連会館の建て替えに伴い、12月までの短期間での連続講座となります。第2回の「普通救急救命講習」は10月4日（土）に同会館で行われました。



◆あいさつ
 東京都生協連
 竹内誠専務理事
 「この講座で、災害時に自分と家族を守るため

に、どうしたらよいのかを考えるきっかけにしてください。」



司会進行の
 中村幹事

◆養成講座の目的と進め方
 CO 災ボ代表幹事
 コープみらい
 大矢憲二



「ボランティアでは、被災者に貢献できたことよりも自分の

体験を通じて学んできたことの方が大きいのです。学んだことをぜひ周りに伝えてください。」

◆講演

東京災害ボランティアネットワーク事務局長 福田信章さん
 「災害ボランティアは、知識やテクニックよりも気づきが大切です。災害が起こる前の防災・減災活動が災害時に役立ちます。助けて！と言える【受援力】と家族や地域・団体との連携が被災者支援の要となります。」



14期養成講座受講生

コープみらい	34名
パルシステム東京	22名
東都生協	6名
全労済	4名
生活クラブ・東京	2名
東京都生協連	1名
計	69名

●ワークショップ

講座の修了まで、住所の近い地域ごとに6つのグループに分かれて進めます。自己紹介の後、①「今ここで大きな地震があったら、何が一番心配ですか？」、②「バッグの中に持っている物で、災害時に役に立つものがありますか？」、の2つのテーマをフリップディスカッション方式で交流しました。

第14期 CO 災ボ養成講座

- 第1講 9/17 開講式・オリエンテーション・講演
- 第2講 10/4 普通救命救急講習
- 第3講 11/1 防災・減災の視点でまち歩きとマップづくり(杉並区荻窪周辺)
- 第4講 11/15 被災&ボランティアシミュレーション
- 第5講 12/6 炊き出し訓練・修了式・交流会

第2回普通救命講習には、CO災ボ会員7名も参加しました。

中野消防署員の方に講師を依頼し、10月4日（土）に第2回講座「普通救命講習」を行いました。講習後に交付される「救命技能認定証」は3年以内の再講習が推奨されるため、CO 災ボ会員7名も、14期生と一緒に再講習を受講しました。訓練用の人形10体と、AED10台を使って、応急手当の重要性、心肺蘇生の体験訓練、AED説明と使い方の訓練、気道異物除去の方法などについて学びました。参加者のアンケートから、14期生の中にも2回目以上の講習受講者が多いことが分かりました。繰り返して受講することの重要性も多くの参加者の感想にみられました。



▲司会の大矢代表幹事



▲会場全体の様子



▲マウスピースを使用した人工呼吸訓練



▲心肺蘇生、胸骨圧迫の訓練



▲AEDの使い方の説明



気道異物除去
成人と小児
(1歳以上16歳未満)の場合



▲訓練用パッドを使用しているAEDによる除細動訓練

第2回参加者アンケートより

- ・胸骨圧迫にこんなに力がいるとは思いませんでした。
- ・最新の手当が学べて勉強になった。
- ・実際にやってみることで強さや速さがよくわかり体験できてよかった。
- ・マウスピースがあり、安心してできそうです。
- ・何回も体験して体にしみこませたい。
- ・救急車が来るまでにすべき事がわかりました。
- ・迷わないで助けることができれば救える命がある、と思いました。

◎参加者に救命講習受講の経験を聞いてみました。

初めて 34%
2回目 41%
3回以上 25%
(アンケートより)

事務局からのお願い

ネットワークニュースほか各種の情報をメールでお送りする「CO 災ボメール会員」登録を随時受け付けています。経費削減と迅速な情報提供のため、ぜひご協力をお願いいたします。また、住所・電話番号・メールアドレス変更の際は、忘れずに事務局までご連絡ください。送信先(小林) kobayashi@coop-toren.or.jp